

1、コロナワクチン接種原則不要

ワクチン接種率が上がっているのにも関わらず新規感染者数の増加が止まりません。当初言われていたワクチンによる新規感染者数抑制効果はありません。大切な税金を海外製薬会社に垂れ流すのはやめましょう。医療の原則は自主決定です。ワクチンを受けるか受けないかは本人の判断に委ねるべきであり、同調圧力で接種が強要されることはあってはいけません。

2、コロナ検査原則不要

致死率が低くなってきているコロナウイルスについて、ことさら騒ぎたてることは医療現場では害悪にすらなっています。過剰な検査は恐怖心を煽り、過剰な反応につながります。

3、自宅療養原則不要

スタッフがコロナ陽性になると自宅療養により戦線離脱し、残されたスタッフに業務がふりかかるという悪循環が生じています。コロナ陽性患者は個室に閉じ込められ、ベッドに横たわり病院や施設の天井を見上げる生活が1ヶ月・2ヶ月続きます。入浴もリハビリもできず、元気に歩いていた高齢者でも寝たきりになり、それが原因で亡くなられる方が多発しています。

厳しい状況にある医療・介護・福祉のみなさん、本当にお疲れ様です。そして本当にありがとうございます。現場の声を議会に届けます。政治に意見がある人は連絡ください。

Tel : 050-5897-6665 Mail : gogoshiga@ymail.ne.jp



柴田俊
しばたしゅん